

版画と美術散歩

第1期 ムンク《病める子》と— 平版の小道

A Walk Through Art with Prints—The Path of Planographic Printing

2026年8月4日（火）～9月6日（日）



①エドヴァルト・ムンク《病める子》1896年 和歌山県立近代美術館蔵

版画は当館にとって重要なコレクションの柱です。しかし、素材が光に弱いために長期間の展示はできず「あの作品にはいつ会えるのだろう」と待ってくださる方も少なくありません。今年度はまず、コレクションの中でも「名品」を順に出品する計画を立て、その作品から発展する展示を試みます。第1期は、《叫び》（1893年）でよく知られるエドヴァルト・ムンクの《病める子》を道案内に、美術の深い森を少しずつ散歩するように、「平版」で作られた作品の世界をご覧くださいと思います。

版画は凸版、凹版、孔版、平版に大きく分けられ、《病める子》は平版の一種であるリトグラフ（石版）で作られました。ほかの版式では、彫るなどして版に凹凸を作り、あるいは版に孔をあけて原版としますが、リトグラフは版面が平らなままで水と油がはじきあう性質を利用して版を作ります。「平らな版」というと不思議にも感じられますが、意外と身近なところにあって、現在一般的な印刷に使われているオフセットもリトグラフから発展した技法です。

リトグラフは、18世紀終わりにミュンヘンでアロイス・ゼネフェルダーが発明し、1798年頃に「化学的印刷術」として完成されてヨーロッパに普及しました。版の材料として天然の石灰石を使ったため、ギリシア語で石を指す「リトス lithos」による版画、リトグラフと呼ばれるようになりました。

はじめは楽譜や地図などの実用的な印刷に使われましたが、19世紀には画家たちがこの技術によって、版画作品を制作するようになりました。版画の技法のなかでもリトグラフの画期的なところは、版に描かれた痕跡を余さず製版し、印刷できることでした。彼らは製版に使う「リトクレヨン」や、ペンや筆につけた「解き墨」を使い、手描きの繊細で自由なタッチや、水彩画のように、やわらかなにじみなどによる豊かな表現を追求していました。また、優れた製版、印刷の技術を持つ版画工房との共同作業も大きな実りをもたらしました。

日本にリトグラフ印刷機がもたらされたのは、江戸時代、1860（安政7・万延元）年のことでした。プロイセンの使節が石版印刷機一式を幕府に贈ったのです。そして、明治時代にはヨーロッパやアメリカから指導者が迎えられて、リトグラフによる様々な実用印刷物が制作されて普及し、そのなかから美術作品としての版画も生まれました。その後、美術学校などでも教えられるようになると、国内あるいは国際的な展覧会でも活躍する石版画家たちが現れます。本展では、ムンクの《病める子》から、日本で創作版画としての石版画の世界を創った織田一磨の連作、現代の作品まで、平版の歴史とともにその魅力をお伝えします。

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：植野比佐見 広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp W E B : <https://www.momaw.jp>



WEB

開催概要

展覧会名 版画と美術散歩 第1期 ムンク《病める子》と一平版の小道
主 催 和歌山県立近代美術館
会 場 和歌山県立近代美術館 1階展示室
会 期 2026年8月4日(火)～9月6日(日)
開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)
休 館 日 月曜日
観 覧 料 一般400(300)円、大学生250(200)円

* () 内は20名以上の団体料金

* 高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方は無料

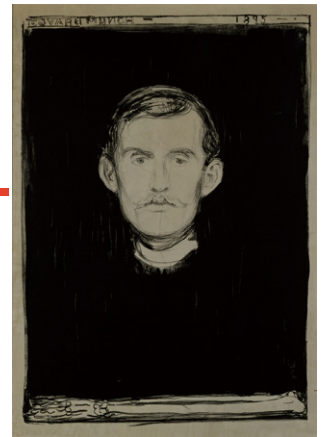
* 8月22日(毎月第4土曜日)は、「紀陽文化財団の日」として大学生無料

* 9月6日(毎月第1日曜日)は無料観覧日

* 同時期に開催の「なつやすみの美術館16 もしも“美術”がなかったら」チケットで本展観覧可能



②フルワール・ブブノフ《谷間への道》
制作年不詳 和歌山県立近代美術館蔵



⑥エドヴァルト・ムンク
《骸骨の腕のある自画像》
1895年 和歌山県立近代美術館蔵

主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問合わせください。
文字のせ、トリミング等はお遠慮ください。



③織田一磨《「東京風景」上野廣小路》
1916年 和歌山県立近代美術館蔵



④織田一磨《「大阪風景」道頓堀》
1917年 和歌山県立近代美術館蔵



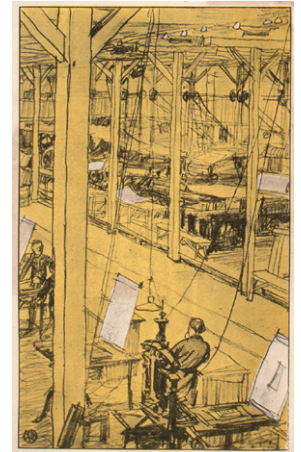
⑤碓伊之助《朝顔》
1935年 和歌山県立近代美術館蔵



⑦織田一磨《深林》1927年 和歌山県立近代美術館蔵



⑧碓伊之助《大きなパルミエ》1935年 和歌山県立近代美術館蔵



⑨石井柏亭《休業》「方寸」2-4挿画
1908年 和歌山県立近代美術館蔵

関連事業

▶ 担当学芸員によるレクチャー

日 時: 8月22日(土)、9月5日(土)
各日14時～ 1時間程度

同時期に開催の展覧会

▶ なつやすみの美術館16 もしも“美術”がなかったら～9月27日(日)

▶ MOMAW コレクション「絵画と彫刻」
8月4日(火)～2027年1月11日(月・祝)
第1期: 8月4日(火)～9月6日(日)

▶ 県立博物館(とたり)の展覧会

特別展 蘆雪生動 一南紀 無量寺への旅—
8月11日(火・祝)～9月23日(水・祝)